



くりはら 市議会だより

第81号

令和6年4月16日



くりでん
絵画展

令和5年度 最優秀賞

令和6年度当初予算 注目事業 2㊦

追跡 带状疱疹ワクチン接種助成 6㊦

特別委員会
設置 議員定数、議会基本条例の調査・研究 7㊦

一般質問 代表質問6人・個人質問12人登壇 10㊦

「私もひとこと」

菅原とき子さん(築館)・小野寺孝司さん(若柳)

20㊦

2,900
万円

(仮)高清水城址公園の整備

旧高清水中学校跡地の公園整備に向けた事業。

150
万円

畜産スマート技術導入への支援

飼養管理技術の向上。発情兆候の見逃しや分娩事故を減らす。

200
万円

ブライダルサポート事業

結婚に向けた過程をサポート。

2,061
万円

くりはら子どもの学び支援

子どもたち1人1人の「心の居場所」となるようなアドバイス、支援をする。

705
万円

帯状疱疹ワクチン接種助成

接種費用1回5,000円の補助。

1,526
万円

定住促進のための宅地分譲整備

市の遊休地を有効活用。(旧若柳公民館、旧志波姫公民館、旧若柳川南保育所、旧若柳学校給食センター)

令和6年度予算 注目事業

2月定例議会では、予算特別委員会において当初予算案を審査し、原案のとおり可決しました。

新規事業の中で注目した事業を紹介します。

予算は市総合計画の5つの将来像に基づき編成されています。

1. 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち
2. 子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち
3. 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち
4. 地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち
5. 市民がまちづくりを楽しめるまち

車種及び入校資格

大型二種免許  年齢・資格条件 / 年齢21歳以上で普通免許を取得して3年以上の方	普通二種免許  年齢・資格条件 / 年齢21歳以上で普通免許を取得して3年以上の方	ドローン  ドローン講習が×ドローン検定
大型自動二輪  年齢・資格条件 / 18歳以上・卒業検定までに18才	普通自動二輪  年齢・資格条件 / 16歳以上・卒業検定までに16才	普通自動車  年齢・資格条件 / 18歳以上
大型自動車 	中型自動車 	準中型自動車 

150万円

第二種運転免許の取得支援

牽引自動車 大型特殊自動車 フォークリフト
運送事業者の運転手不足の解消をめざす。



1億1,426万円

タクシー利用助成

乗り合いデマンドを使いやすいタクシー事業に改善。



1,352万円

スマート保育

幼稚園・保育所および認定こども園にICTを導入、紙でおこなっていた連絡などデジタル化。



50万円

高齢者のための安全運転支援装置の助成

70歳以上の市内に住所があり、お住まいの方
購入設置費用の1/2（上限4万円）

特別委員会

予算



三浦善浩 委員長

審査

質疑

令和6年度の一般会計や4つの特別会計、3つの事業会計の予算は議会議員が全員（議長を除く）で構成する予算特別委員会で審査しました。審査は市政全般にわたり数多くの質疑がありました。

質疑のいくつかをお知らせします。

ふるさと納税
目標達成の努力は

問 ふるさと納税として1億5千万円を目標としているが、前年度より増額した分はどのような努力をしていくのか。

答 返礼品の掘り起こしをしていく。今年度は、97品目を追加し、増額に向けて努力していく。

問 提携しているサイトに偏りはあるのか。5社と提携しているところ、大きいところはふるさとチョイスである。

答 ランキング上位は画像の掲載がよくできている。業者によりばらつきがあり、魅力を感じないのでは。

問 中間事業者と魅力ある内容で修正し、見てもらえるように調整していく。

答 中間事業者と魅力ある内容で修正し、見てもらえるように調整していく。



さまざまな返礼品

タクシー利用助成
概要

問 タクシー利用助成が令和6年4月から始まるがどう変わるのか。

答 広域路線（市内から市外）3路線、市内連携路線8路線となる。デマンド交通は花山のみでほかの地区はタクシー利用助成へと切り替えになる。

問 令和6年4月から運行について運行事業者との話し合いはしたのか。

答 デマンド交通の時から協議している。台数なども含めてこれまで協議してきた。

婚活イベント
業務委託料とは

問 婚活イベント業務委託料とは、どのような内容か。

答 婚活イベントの開催だけではなく、結婚までのプロセスをサポートするものである。企画の運営とカップル成立後のサポートを行うものである。

問 200万円の事業の内訳はどうなっているのか。

答 運営、企画に100万円。会場使用料として52万円。飲食代として36万円。カップル成立後のサポート費用として12万円と試算している。

後期高齢者医療広域連合
負担金昨年に比べてどうか

問

後期高齢者医療広域連合負担金が昨年と比べて増額しているのか。

答

昨年と比べて4500万円程度増額している。

問

の見込み合計は。

答

県全体の共通経費については7億2300万円ほどである。医療給付負担金については、22億7千万円ほどである。被保険者数は県全体として1月末現在で33万9千人ほどである。

問

負担金の額は県全体のなかでどのくらいになるのか。また、県全体の被保険者数と保険給付



くりはら元気アップ体操

带状疱疹ワクチン
対象は

問

带状疱疹ワクチンの助成が令和6年度から始まるが、対象人数はどのくらいと見込んでいるのか。

答

50歳以上を対象として、3万7千人ほどとなっている。接種率2.4%くらいと見込んでいる。(人数として900人)

問

栗原市内のすべての病院でワクチン接種ができるのか。

答

4月からの接種に向けて医師会と協議している。現時点で把握している医療機関は23カ所となっている。

中核機能地域調査
どこまで

問

中核機能地域（くりこま高原駅周辺）基礎調査はどのような調査が行われているのか。

答

令和5年度から令和6年度にかけての調査であり、土地所有者の意向をアンケート調査や民間事業者とのヒアリングを継続していくものである。

問

開発の可能性を調査というのが、どれほど可能性があるのか。

答

地権者の関心は高いが、開発事業者とは、まだ調査中であるため、協議ができるところまで進んでいない。

遊休農地の解消
内容

問

遊休農地解消対策事業が新規事業としてあるが、その内容は。

答

担い手による再生利用の取り組みによる助成である。耕作放棄地を戻す際の草刈り、耕起、整地といった作業に対して10㏎あたり4万3千円以内で交付するものである。

問

どれだけの面積を目標としているのか。

答

年間6鈔を目安としている。市内には令和5年度当初の耕作放棄地の田んぼが67.3鈔ある。どのように農家の皆さんに普及しようとしているのか。

問

農業委員会だよりで知らせるとともに、農業委員への周知、集落説明会でも説明していく。



荒れている農地を活かす